

トリは 環境をはかるモノサシです

●あなたが住んでいる所は どんな環境でしょうか



50点	ヒトが健康な生活をいとむにふさわしい環境といえます。庭にエサ台を置けば、1年を通じて20種以上の野鳥が来るでしょう。このまま大切にしたい環境です。
35点	自然破壊のきざみが見えますが、まだ回復力があります。都市郊外の住宅地あたり。庭には年間10種以上の野鳥。もっと木を植えたり皆で協力してよりよい環境に。
25点	ところどころに緑が残っている、大都市に近いベッド・タウンとしての住宅地あたり。もっともっと緑を増やせば、上のランクにとどきます。
10点	かなりにぎやかな市街地。日中は交通がはげしく、騒音もあります。緑は、人工的な庭や造成によるものが多い。もう少し緑豔な公園などがほしいものです。
5点	交通量、騒音が多くはげしく、ヒトはいつも大きな精神的緊張を強いられているところです。公害などヒトをむしばむ悪い環境といえるでしょう。もっと緑を！

▼東京周辺の例

トリたち	銀座	明治神宮	高尾山
ドバト	○	○	×
カラス	○	○	○
スズメ	○	○	○
ムクドリ	×	○	○
ヒヨドリ	○	○	○
キジバト	×	○	○
ツバメ	○	○	○
カワラヒワなど	×	○	○
シジュウカラなど	×	○	○
ヒバリなど	×	キジ○	×
メジロなど	×	○	○
ウグイスなど	×	×	○
オオルリなど	×	×	○
アオバズクなど	×	×	○
点数	2	22	45

よりよい環境づくりへの目やすとして――

自然がこわされるとすぐにいなくなってしまうトリ、少々の自然破壊でも順応するトリ――あなたの周囲の環境を、そんな野鳥の種類によって調べてみませんか。いろんな点をつけられたトリたちには気の毒ですが、彼らの棲む場所と生活ぶりを基準に、「ヒトが快適に暮らせる環境はどのくらいの自然と野鳥が必要か」を前提として点数を算出しています。

左の図は、いまごろの季節によく見られるトリたちで、それぞれ点数がついています。あなたの家の近くにいるトリをさがして点数を加えてください。合計点が高い所も、低い所もあるでしょう。でも大切なことは、「ではどうすればよいか」です。よりよい環境づくりは、私たちがやらねばなりません。一步一步、小さな努力から輪をひろげていかなければ、5点はいつまでも5点のままです。私たち一人ひとりが考えましょう。

ドバトはなぜマイナスなのか

ドバトは飼いバトの野生化したものです。野生化させた飼い主や、主のないものにエサをやる無責任と、棲む場所を与える都市の無秩序で増え続けています。どんな悪い環境でも棲めるというのは、彼らが公害に強い証明にはなっても、ヒトをふくめたほかの生物たちの生きる環境にプラスすることにはなりません。都市の樹木を公害に強い種類にするよりも、むしろ弱い樹を植えて環境悪化を監視したいという立場から、ドバトは、もうこれ以上ふやしてはいけない存在だと考えます。

平和のトリとしてのイメージ、歌にうたわれるドバトですが、「野生鳥獣を保護すること」のほんとうの意味を考えるとき、自然破壊にも平気でいられるものに心のやすらぎを求めてよいものでしょうか。特定の種類だけが強い環境は、自然のサイクルがこわれかけているのだということを知っていただきたいと思います。



ヒトの中のトリの保護区

財団法人日本鳥類保護連盟
サントリー株式会社

●この広告は、財団法人日本鳥類保護連盟の指導を得て、サントリー株式会社がシリーズとして制作、次の各紙に月1回、掲載しているものです。ご愛読ください。朝日・毎日・読売・サンケイ・中日・中国・山梨日日・北海道・西日本・下野